

木質新素材を 生産する 唯一の企業です

株式会社リグノマテリア



【本社】東京都港区赤坂 2-15-16 赤坂ふく源ビル1階
【茨城事務所】茨城県常陸太田市田渡町 466
【宮の郷工場・研究所】茨城県常陸太田市宮の郷町 473-41

DATA

代表者：三浦 善司
資本金：2,000 万円
従業員数：20 人
採用窓口：沢島 勝憲
TEL：0294-87-7484
MAIL：k.sawahata@lignomateria.co.jp
URL：https://lignomateria.co.jp



製造部
福地 凌大

こんな仕事しています

工場（生産実証プラント）における木質新素材「改質リグニン」の生産活動全般に関わっています。主に原料となるスギ材の投入、攪拌。検査装置を使って加工工程中の品質確認など、プラント設備の稼働及び維持管理を行っています。生産した製品の品質を分析装置で確認もしています。森林資源を利用して、脱炭素、脱石油等に取り組む。世界唯一の企業で地球環境の改善に携われることに喜びを感じます。

常陸太田の自然をより豊かにできる弊社の取り組みは、大きな魅力です。

工場が竣工して間もないこともあり、労働環境は明るく清潔感があります。

多くの社員は、気さくで頼りがいがあり、社内の雰囲気もとても良いです。

嫌なことを仕事にしても長続きしません。自分が何をしたいのか考えることが大切だと思います。

そんなあなたを求めています

私たちは、日本の未来のために、常陸太田市から新しい産業を生み出します。社員になる方には、個人の資質や今まで培われた経験を生かしてもらうだけでなく、更に新しい経験や資格取得を奨励しています。社員の成長は、より良い生産活動と会社の発展に繋がります。新しいことにチャレンジする勇気、困難を乗り越える知恵、最後までやり抜く粘り強さを持った人材を求めています。



改質リグニン （製品名：リグノトップ）で 持続可能な社会に向けて貢献

弊社の製品である改質リグニンは、スギを原料とする高分子素材（プラスチックや樹脂など）です。スギの中でも製材に不向きだった大径木や、間伐材、未利用材を原料にできます。限りある石油資源を原料とせず、日本特産の樹種であるスギを資源として有効利用することで、林業の活性化だけでなく、持続可能な社会に向けて貢献いたします。



改質リグニンの化学プラントの操業及び生産管理全般を行います。原料となる木質の運搬や原料の投入をはじめ、タンクの洗浄や配管バルブ操作。また、製品の品質検査、梱包など工場における生産活動全般に関わります。



PRODUCT POINT



木質新素材「改質リグニン」

高品質プラスチック代替素材として注目されている「改質リグニン」。その可能性はさまざまです。

- 製品の独自性：天然物を由来とし軽量で耐熱性、抗酸化性に優れた素材です。生分解性（微生物の作用で分解する）を有するため、廃棄する際は土に還るので環境への影響がほとんどありません。
- 山間地域や林業の活性化：これまで製材としての利用価値が低かったスギ大径木、端コロ（根元）などの林地残材も原料として活用し、新たな価値を創出します。
- 用途研究・開発：改質リグニンの製造だけでなく、大学の研究機関と提携し、更なる製品の品質向上や改質リグニンの用途開発にも力を注いでいます。

宮の郷工場・研究所は、生産規模の比較的小さい「生産実証プラント」の位置づけですが、生産合理化のためデータを蓄積させ、将来の生産能力を拡大させてゆきます。